

令和2年度 臨時 教育研究評議会 議事要録

日 時 令和2年5月15日（金）13:30～15:25

場 所 （※ ビデオ会議システムにて実施）

構成員 学長，総括理事・副学長，理事・副学長（教育担当），理事・副学長（研究担当），
理事・副学長（財務担当）・事務局長，理事・副学長（法務労政担当），山田，植松，
須佐，横田，近藤，中井，上田，久堀，三宅，橋本，山室，三原，井村，高田，桑田，
屋井，伊東，岡田，久世，店橋，安藤，西畑，和地，弓山，穂田，齋藤の各評議員
（構成員以外）榎並監事，附属科学技術高等学校長，オープンファシリティセンター副センター長

資 料

1. 研究実施のための出勤・通学について
- 2-1. 東工大独自の緊急経済支援策について
- 2-2. 新型コロナウイルス感染症対策 緊急学生支援室の設置について
3. <レベル3>の出口の模索とそれに向けた大学業務復帰について
4. 社会課題即応研究機構（仮称）の提案

参考資料

1. 蔵前ジャーナル（2020年夏号 6月1日発行予定）
2. 新型コロナウイルス感染症に対する当面の対応方針（3/30版）

○ 報告事項

1. 新型コロナウイルス感染症拡大に対する本学の対応状況について
学長から，参考資料1に基づき，令和2年1月下旬からの新型コロナウイルス感染症拡大に対する本学の対応状況について報告があった後，引き続き，佐藤理事・副学長から，参考資料2に基づき，新型コロナウイルス感染症に対する当面の対応方針について説明があった。
2. 研究実施のための出勤・通学について
渡辺理事・副学長から，資料1に基づき，研究実施のための出勤・通学についての実施手続き及び実施状況について説明があった。
3. 東工大独自の緊急経済支援策について
佐藤理事・副学長から，資料2-1に基づき，本学独自の学生に対する緊急経済支援策について説明があった。また，藤野理事から，資料2-2に基づき，貸与型奨学金制度の運用事務を担う組織として緊急学生支援推進室を設置したことについて報告があった。
4. <レベル3>の出口の模索とそれに向けた大学業務復帰について
佐藤理事・副学長から，資料3に基づき，<レベル3>の出口の模索とそれに向けた大学業務復帰について説明があった。

【主な意見等】

・＜レベル3＞の状況で実験等ができない学生が不安を感じている。＜レベル2＞に移行するクライテリアを明確にして、学生にも周知いただきたい。

5. 新型コロナウイルス感染症の対応にかかる勤務の取り扱い等について

平井総務部長から、新型コロナウイルス感染症の対応にかかる教職員の勤務の取り扱い及び給与の支給方法について報告があった。

○ 教育研究に関する諸問題について

1. 社会課題即応研究機構（仮称）の提案について

久堀評議員から、資料4に基づき、社会課題即応研究機構（仮称）の提案について説明があった。

2. オンライン教育の状況について

山田評議員、上田評議員他から、オンライン教育の状況について報告があった。

○ その他

1. 大学が保有するPCR検査機器等の調査について

藤野理事・副学長から、文部科学省より大学が保有するPCR検査機器等の調査があり、各部局にご協力いただいた上で回答した旨の報告があった。

2. 次回開催について

学長から、今回は、令和2年5月21日(木)13:30から、ビデオ会議システムで開催する旨、案内があった。

以 上